

2026 年度 第 32 回

国家資格 キャリアコンサルタント試験

実技(論述)試験 問題用紙

実施日 ◆ 2026 年 7 月 5 日(日)

試験時間 ◆ 14:30~15:20(50 分)

★注意事項★

1. 本試験の出題形式は、記述式 4 問です。
【事例記録】を読み、設問ごとに解答用紙の記入欄に記述してください。
2. 解答用紙の受験番号・氏名に誤りがないか、確認してください。
3. 試験中に机上に置ける物は、受験票、腕時計、筆記具(黒の鉛筆もしくはシャープペンシル・消しゴム)です。それ以外のもの(定規・メモ用紙・筆記用具入れ等)は机上に置かず、カバンなどの中にしまってください。
4. 受験票は、机上の通路側に見えるように置いてください。
5. 試験室内では、携帯電話・スマートフォン・スマートウォッチ等全ての通信機器および電子機器、時計のアラーム等、音の出る機器は使用禁止です。必ず電源を切り、カバンなどの中にしまってください。
6. 試験中は、乱丁・落丁・印刷不鮮明に関する質問以外はお受けできません。
7. 不正行為があったときは、すべての解答が無効となります。
8. 試験終了の合図が告げられたら、直ちに筆記具を置き、試験監督者の指示に従ってください。
9. その他、試験監督者の指示に従ってください。指示に従わない場合は、失格となります。

【退出時の注意事項】

1. 試験開始後30分経過した時点で途中退出できます。途中退出する場合には、挙手し、試験監督者の指示に従ってください。問題用紙はお持ち帰りください。
2. 試験終了時刻5分前からは退出できません。試験終了後、試験監督者が解答用紙を回収しますので、着席したまま静粛にお待ちください。

- 2026 年 8 月 20 日(予定)に、受験者全員に結果通知書を送付いたします。
- 合格者は、以下の登録試験機関のウェブサイト受験番号を掲載してお知らせします。
<https://www.career-shiken.org/result/>

厚生労働大臣登録試験機関

特定非営利活動法人キャリアコンサルティング協議会

問題 次の【事例記録】を読み、以下の設問に答えなさい。解答は解答用紙の設問ごとに記述すること。

【事例記録】

*キャリアコンサルタントが今後の研鑽に生かすための、作成途中の事例記録

相談者情報： Zさん、女性、36歳 略歴：四年制大学（経済学部）を卒業後、金融系企業で営業職として勤務。2人の子どもを出産し、育休取得後は時短勤務で復帰。今年春からフルタイムで勤務。 家族構成：夫38歳（会社員）、長男9歳（小学3年生）、次男7歳（小学1年生）
面接日時：2026年7月上旬 本人の希望で来談（初回面談）
相談の概要： 【略A】
相談者の話した内容： カッコ内はキャリアコンサルタントの発言 この4月に、下の子が小学生になったため、会社の就業規則で時短勤務が終わり、フルタイムで働いている。夫も仕事が忙しい中で、家のことを協力してくれているので、これまで何とか仕事を続ける事ができている。 先日、夫から、1年後くらいに転勤することになると思う。数年で戻る予定だが、単身赴任ではなく家族で一緒に行きたいと言われた。そうすると自分が仕事を辞めなければいけない。やっと仕事も任されるようになってきたのに、正直このタイミングで辞めたくない…。 （せっかくここまで頑張ってきたのにという思いがあるのですね。） 育児は大変だけれど、仕事が好きだから、頑張れたのかなと思う。2回の育休ももらって、復職できた時は嬉しかった。子育てに専念できた時間は大切な時間だったけれど、やっぱり自分は働いていたいと思った。子どもに自分が頑張っている姿を見せたい気持ちもあるのに。 <u>（お子さんに仕事を頑張っている姿を見せたいのに、転勤になったら仕事を辞めないといけないとお考えでしょうか。）【下線B】</u> 今の職場は環境に恵まれていると思う。2回の育休から時短勤務で復帰した時も快く協力してくれた上司や同僚に感謝の気持ちもある。ようやくフルタイムで働けるようになって、徐々に仕事も任せてもらえるようになったのに、今の仕事を辞めて夫の転勤に合わせて家族で引っ越すのはどうなのか…子どもも学校に慣れてきた所で転校させたくない。 だからといって、夫が単身赴任をして家族がバラバラになるのは子どもにとって良くないのではと心配になるし、仕事をしながら2人の子育てをワンオペでやらなければならない…。 （転勤について行かずに、仕事を続けることを選んだ場合、仕事と子育てをどのように両立していく

のか見通せず不安なのですね。)

自分一人で家事も育児も仕事も・・・というのは難しいのかな。でも仕事は好きなので本当はもっと頑張りたい。自分が休んでいる間に昇格した同期もいる。自分は随分遅れをとっているのかもしれないと思うと焦りもある。一方で、仕事も大事だけれど、子どもや家庭も大事にしたい。

(仕事も家庭も両方大事にしたいのですね。)

子育てで仕事をあきらめたくない。両方大事にしたいし、しっかりやりたい。でもこれからどうやって働き続けたらいいのかわからない・・・。

(以下略)

所感(キャリアコンサルタントの見立てと今後の方針)

・【下線B】を応答した意図は、(以下略)

(以下略)

【設問】

※注意事項:解答は全て解答用紙の行内に記入すること。裏面等に記入したものは採点されません。

設問1 事例記録の中の「相談の概要」【略A】の記載に相当する、相談者がこの面談で相談したいことは何か。事例記録を手掛かりに記述せよ。(10点)

設問2 事例記録の【下線B】について、この事例を担当したキャリアコンサルタントがどのような意図で応答したと考えるかを記述せよ。(10点)

設問3 あなたが考える相談者の問題(①)とその根拠(②)について、相談者の言動を通じて、具体的に記述せよ。(20点)2×10点

①問題

②その根拠

設問4 設問3で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するとしたら、どのような方針でキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。(10点)

解答用紙

受験者 氏 名	
------------	--

--

【設問1】 事例記録の中の「相談の概要」【略A】の記載に相当する、相談者がこの面談で相談したいことは何か。事例記録を手掛かりに記述せよ。

【設問2】 事例記録の【下線B】について、この事例を担当したキャリアコンサルタントがどのような意図で応答したと考えるかを記述せよ。

【設問3】 あなたが考える相談者の問題①とその根拠②について、相談者の言動を通じて、具体的に記述せよ。

① 問題

② その根拠

【設問4】 設問3で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するとしたら、どのような方針でキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。

注：解答用紙の裏面および行外に記述されたものは採点されません。